

インデックスファンドDAX (ドイツ株式)

運用報告書 (全体版)

第9期 (決算日 2023年2月20日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
「インデックスファンドDAX (ドイツ株式)」は、2023年2月20日に第9期の決算を行ないましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式/インデックス型	
信託期間	2014年3月10日から2029年2月20日までです。	
運用方針	主として、「インデックス マザーファンド ドイツ株式」受益証券に投資を行ない、ドイツの株式市場を代表する指数 (DAX指数 (円換算ベース)) に連動する投資成果をめざして運用を行ないます。	
主要運用対象	インデックスファンドDAX (ドイツ株式)	「インデックス マザーファンド ドイツ株式」受益証券を主要投資対象とします。
	インデックス マザーファンド ドイツ株式	ドイツの金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
組入制限	インデックスファンドDAX (ドイツ株式)	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	インデックス マザーファンド ドイツ株式	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。	

<642312>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			DAX指数 (円換算ベース)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資信託 組入比率	純資 産額	
	(分配落)	税 分 配	み 金 騰 落	期 騰 落	中 率					期 騰 落
	円		円		%			%	百万円	
5期(2019年2月20日)	9,786		0	△14.8	106.09	△13.4	97.9	2.7	—	2,582
6期(2020年2月20日)	11,250		0	15.0	123.77	16.7	95.6	4.3	—	2,669
7期(2021年2月22日)	11,948		0	6.2	133.56	7.9	93.4	6.6	—	2,172
8期(2022年2月21日)	12,891		0	7.9	146.32	9.6	94.0	5.6	—	1,578
9期(2023年2月20日)	14,508		0	12.5	165.81	13.3	92.0	8.6	—	1,545

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

(注) 「DAX指数」とは、フランクフルト証券取引所上場銘柄のうち、主要40銘柄で構成されたドイツの代表的な株価指数です。同指数の(円換算ベース)とは、日興アセットマネジメントが同指数をもとに円換算したものです。なお、設定時を100として2023年2月20日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		D A X 指 数 (円換算ベース)		株組入比率	株先物比率
	騰 落 率	(ベンチマーク)	騰 落 率	(ベンチマーク)		
(期首) 2022年2月21日	円 12,891	% —	146.32	% —	% 94.0	% 5.6
2月末	12,385	△ 3.9	140.59	△ 3.9	93.7	6.2
3月末	13,109	1.7	148.99	1.8	92.9	6.8
4月末	12,296	△ 4.6	139.81	△ 4.5	95.1	4.4
5月末	13,091	1.6	149.83	2.4	94.2	5.7
6月末	12,159	△ 5.7	138.43	△ 5.4	91.4	8.2
7月末	11,941	△ 7.4	136.03	△ 7.0	91.3	7.6
8月末	11,789	△ 8.5	134.46	△ 8.1	92.5	7.0
9月末	11,146	△13.5	127.18	△13.1	91.4	8.3
10月末	12,772	△ 0.9	145.85	△ 0.3	92.9	7.1
11月末	13,457	4.4	153.80	5.1	95.3	4.0
12月末	13,024	1.0	148.55	1.5	92.8	6.8
2023年1月末	13,997	8.6	159.78	9.2	92.6	6.8
(期末) 2023年2月20日	14,508	12.5	165.81	13.3	92.0	8.6

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

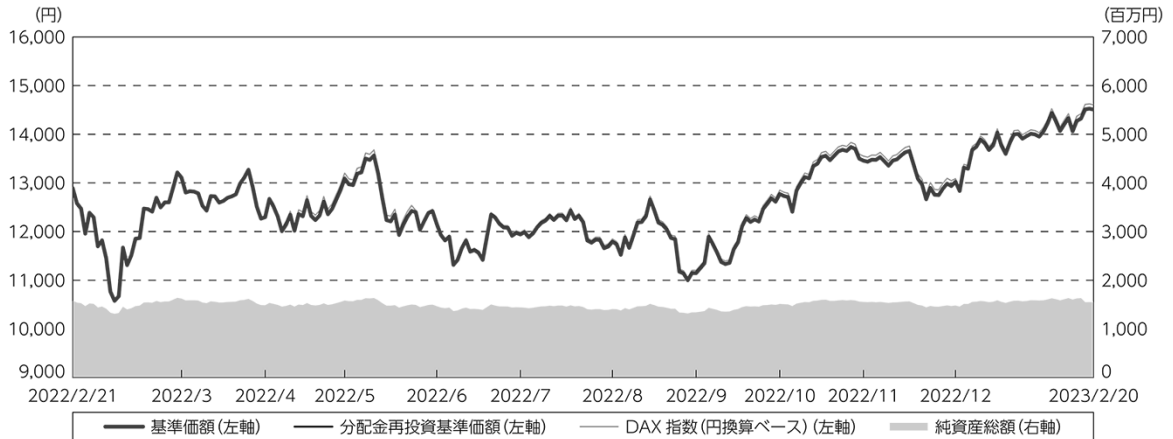
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

○運用経過

(2022年2月22日～2023年2月20日)

期中の基準価額等の推移



期首：12,891円

期末：14,508円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：12.5%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびDAX指数（円換算ベース）は、期首（2022年2月21日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) DAX指数（円換算ベース）は当ファンドのベンチマークです。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、ドイツの金融商品取引所に上場されている株式に投資し、ドイツの株式市場を代表する指数（DAX指数（円換算ベース））に連動する投資成果を目標として運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

＜値上がり要因＞

- ・米国連邦準備制度理事会（FRB）の利上げペース鈍化への期待が強まったこと。
- ・ユーロ圏の消費者物価指数（CPI）速報値が市場予想を下回りインフレ圧力が緩和したこと。
- ・ドイツのZEW景気期待指数およびユーロ圏の製造業・サービス業の購買担当者景気指数（PMI）速報値が市場予想を上回り、ユーロ圏の景気悪化に対する過度な懸念が和らいだこと。
- ・ユーロが対円で上昇したこと。

＜値下がり要因＞

- ・ロシアによるウクライナ侵攻を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まったことや、サプライチェーン（供給網）の混乱などからインフレ高進が警戒されたこと。
- ・FRBが大幅な利上げを実施し、急激な金融引き締めによる景気後退への警戒感が強まったこと。
- ・欧州中央銀行（ECB）高官がインフレ抑制を優先し金融引き締めを強化する姿勢を強調したことを受けて、欧州景気の悪化が懸念されたこと。

投資環境

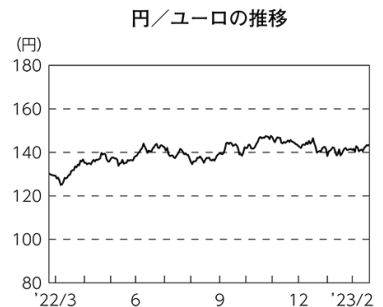
（ドイツ株式市況）

ドイツの株式市場（DAX指数）は、期間の初めと比べて上昇しました。

期間の初めから2022年10月前半にかけては、ロシアによるウクライナ侵攻を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まったことや、サプライチェーンの混乱などからインフレ高進が警戒されたこと、FRBが大幅な利上げを実施し、急激な金融引き締めによる景気後退への警戒感が強まったこと、ECBが政策金利の引き上げ開始や大幅な利上げの可能性を示唆したこと、ジャクソンホール会議においてFRB議長やECB高官がインフレ抑制を優先し金融引き締めを強化する姿勢を強調したことを受けて、欧州景気の悪化が懸念されたことなどから、DAX指数は下落しました。10月後半から期間末にかけては、公表された米国のPMI速報値やCPIが市場予想を下回り、FRBの利上げペース鈍化への期待が強まったことや、ユーロ圏のCPI速報値が市場予想を下回りインフレ圧力が緩和したこと、ドイツのZEW景気期待指数およびユーロ圏の製造業・サービス業のPMI速報値が市場予想を上回り、ユーロ圏の景気悪化に対する過度な懸念が和らいだことなどから、DAX指数は上昇しました。

（為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

当ファンドは、「インデックス マザーファンド ドイツ株式」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

（インデックス マザーファンド ドイツ株式）

主として、ドイツの金融商品取引所に上場されている株式に投資し、ベンチマークである「DAX指数（円換算ベース）」に連動する投資成果をめざして運用を行ないました。

なお、外貨建資産は、為替ヘッジを行わず、高位の外貨エクスポージャーを維持しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

期間中における基準価額は、12.5%の値上がりとなり、ベンチマークである「DAX指数（円換算ベース）」の上昇率13.3%を概ね0.8%下回りました。

ベンチマークとの差異における主な要因は以下の通りです。

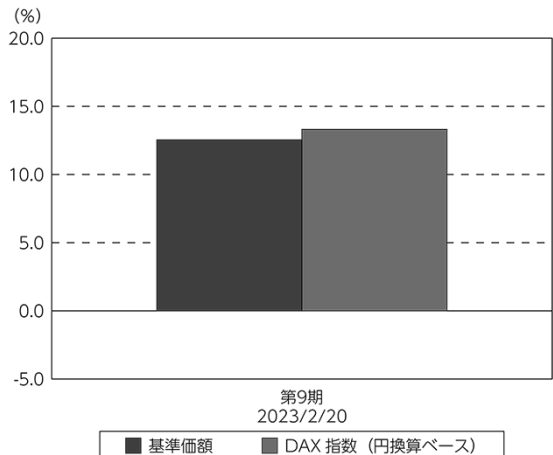
<プラス要因>

- ・配当に係る源泉税の還付金を受け取ったこと。

<マイナス要因>

- ・配当に係る源泉税の支払いが影響したこと。
- ・売買手数料や海外口座管理費用などの支払いが影響したこと。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

（注）DAX指数（円換算ベース）は当ファンドのベンチマークです。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第9期
	2022年2月22日～ 2023年2月20日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,508

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「インデックス マザーファンド ドイツ株式」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行なう方針です。

（インデックス マザーファンド ドイツ株式）

引き続き、ベンチマークである「DAX指数（円換算ベース）」に連動する投資成果をめざし、主としてドイツの金融商品取引所に上場されている株式に投資する方針です。また、運用の効率化のため、株価指数先物取引等のデリバティブ取引や外国為替予約取引を活用します。なお、外貨建資産は、原則として為替ヘッジを行わず、高位の外貨エクスポージャーを維持する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2022年2月22日～2023年2月20日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	97	0.768	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(41)	(0.329)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(48)	(0.384)	運用報告書など各種書類の送付、口内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(7)	(0.055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	6	0.047	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(6)	(0.045)	
（ 先 物 ・ オ プ シ ョ ン ）	(0)	(0.002)	
(c) そ の 他 費 用	21	0.170	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(7)	(0.058)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	(12)	(0.095)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
（ そ の 他 ）	(2)	(0.012)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	124	0.985	
期中の平均基準価額は、12,597円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

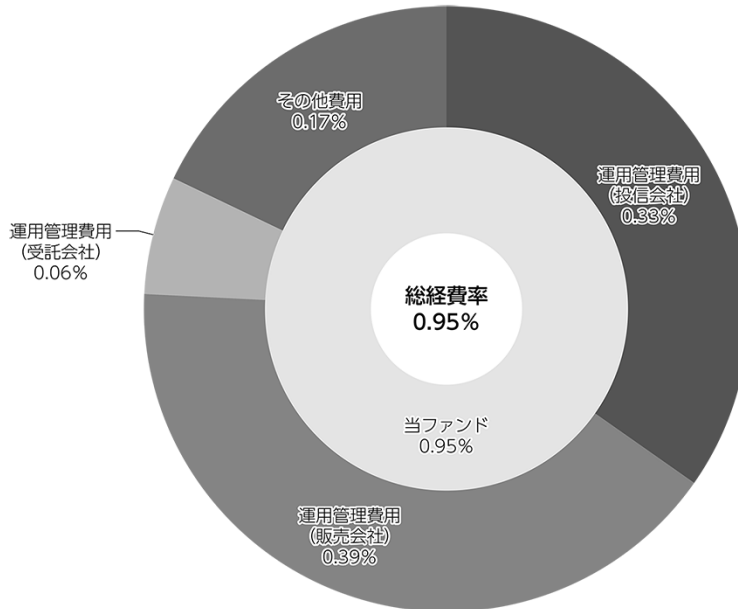
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.95%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年2月22日～2023年2月20日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
インデックス マザーファンド ドイツ株式	千口 137,878	千円 181,558	千口 294,660	千円 414,187

○株式売買比率

(2022年2月22日～2023年2月20日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	インデックス マザーファンド ドイツ株式
(a) 期中の株式売買金額	347,473千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,394,621千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.24

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2022年2月22日～2023年2月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2022年2月22日～2023年2月20日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2022年2月22日～2023年2月20日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2023年2月20日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
インデックス マザーファンド ドイツ株式	1,142,948	986,165	1,545,320

(注) 親投資信託の2023年2月20日現在の受益権総口数は、986,165千口です。

○投資信託財産の構成

(2023年2月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
インデックス マザーファンド ドイツ株式	1,545,320	99.4
コール・ローン等、その他	9,917	0.6
投資信託財産総額	1,555,237	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) インデックス マザーファンド ドイツ株式において、当期末における外貨建純資産（1,495,126千円）の投資信託財産総額（1,546,010千円）に対する比率は96.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1ユーロ=143.53円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2023年2月20日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,555,237,852
コール・ローン等	9,221,027
インデックス マザーファンド ドイツ株式(評価額)	1,545,320,904
未収入金	695,921
(B) 負債	9,464,847
未払解約金	2,258,426
未払信託報酬	5,747,410
未払利息	1
その他未払費用	1,459,010
(C) 純資産総額(A－B)	1,545,773,005
元本	1,065,444,633
次期繰越損益金	480,328,372
(D) 受益権総口数	1,065,444,633口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,508円

(注) 当ファンドの期首元本額は1,224,138,340円、期中追加設定元本額は298,318,109円、期中一部解約元本額は457,011,816円です。

(注) 1口当たり純資産額は1.4508円です。

○損益の状況（2022年2月22日～2023年2月20日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 1,107
受取利息	5
支払利息	△ 1,112
(B) 有価証券売買損益	195,924,784
売買益	226,445,967
売買損	△ 30,521,183
(C) 信託報酬等	△ 12,979,934
(D) 当期損益金(A+B+C)	182,943,743
(E) 前期繰越損益金	101,240,843
(F) 追加信託差損益金	196,143,786
(配当等相当額)	(190,684,664)
(売買損益相当額)	(5,459,122)
(G) 計(D+E+F)	480,328,372
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	480,328,372
追加信託差損益金	196,143,786
(配当等相当額)	(191,472,831)
(売買損益相当額)	(4,670,955)
分配準備積立金	284,184,586

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程（2022年2月22日～2023年2月20日）は以下の通りです。

項 目	2022年2月22日～ 2023年2月20日
a. 配当等収益(経費控除後)	43,273,559円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	139,670,184円
c. 信託約款に定める収益調整金	196,143,786円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	101,240,843円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	480,328,372円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	4,508円
g. 分配金	0円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	0円
-----------------	----

○お知らせ

約款変更について

2022年2月22日から2023年2月20日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

インデックス マザーファンド ドイツ株式

運用報告書

第9期（決算日 2023年2月20日）
（2022年2月22日～2023年2月20日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2014年3月10日から原則無期限です。
運用方針	主として、ドイツの金融商品取引所に上場されている株式（これに準ずるものを含みます。）に投資し、ドイツの株式市場を代表する指数（DAX指数（円換算ベース））に連動する投資成果を目標として運用を行ないます。
主要運用対象	ドイツの金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

ファンド概要

主として、ドイツの金融商品取引所に上場されている株式（これに準ずるものを含みます。）に投資し、ドイツの株式市場を代表する指数（DAX指数（円換算ベース））に連動する投資成果を目標として運用を行ないます。対象指数の選定および変更にあたっては、当ファンドの商品性および運用上の効率性を勘案し委託者の判断により決定するものとします。

運用にあたって、対象指数に採用されていない株式についても、運用目的を達成するために有用であると判断される場合は投資を行ないます。また、対象指数に採用されている株式の一部または全部の値動きに連動をめざす上場投資信託証券や債券等に投資する場合があります。

運用の効率化をはかるため、株価指数先物取引や外国為替予約取引等を活用することがあります。このため、株式の組入総額と株価指数先物取引等の買建玉の時価総額の合計額および外貨建資産の組入総額と外国為替予約取引等の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。

ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

日興アセットマネジメント

<637225>

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		D A X 指数 (円換算ベース) (ベンチマーク)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資信託 組入比率	純資 産額
	期騰落	中率	期騰落	中率				
	円	%		%	%	%	%	百万円
5期(2019年2月20日)	10,208	△14.1	106.09	△13.4	97.9	2.7	—	2,582
6期(2020年2月20日)	11,837	16.0	123.77	16.7	95.6	4.3	—	2,669
7期(2021年2月22日)	12,682	7.1	133.56	7.9	93.4	6.6	—	2,171
8期(2022年2月21日)	13,803	8.8	146.32	9.6	94.0	5.6	—	1,577
9期(2023年2月20日)	15,670	13.5	165.81	13.3	92.0	8.6	—	1,545

(注) 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

(注) 「DAX指数」とは、フランクフルト証券取引所上場銘柄のうち、主要40銘柄で構成されたドイツの代表的な株価指数です。同指数の(円換算ベース)とは、日興アセットマネジメントが同指数をもとに円換算したものです。なお、設定時を100として2023年2月20日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		D A X 指数 (円換算ベース) (ベンチマーク)		株式 組入比率	株式 先物比率
	騰落	率	騰落	率		
(期首) 2022年2月21日	円	%		%	%	%
	13,803	—	146.32	—	94.0	5.6
2月末	13,263	△3.9	140.59	△3.9	93.7	6.2
3月末	14,049	1.8	148.99	1.8	93.0	6.8
4月末	13,186	△4.5	139.81	△4.5	95.1	4.4
5月末	14,050	1.8	149.83	2.4	94.2	5.7
6月末	13,059	△5.4	138.43	△5.4	91.4	8.2
7月末	12,833	△7.0	136.03	△7.0	91.4	7.6
8月末	12,680	△8.1	134.46	△8.1	92.5	7.0
9月末	11,997	△13.1	127.18	△13.1	91.4	8.3
10月末	13,757	△0.3	145.85	△0.3	92.9	7.1
11月末	14,506	5.1	153.80	5.1	95.4	4.0
12月末	14,049	1.8	148.55	1.5	92.8	6.8
2023年1月末	15,110	9.5	159.78	9.2	92.6	6.8
(期末) 2023年2月20日	円	%		%	%	%
	15,670	13.5	165.81	13.3	92.0	8.6

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

○運用経過

(2022年2月22日～2023年2月20日)

基準価額の推移

期間の初め13,803円の基準価額は、期間末に15,670円となり、騰落率は+13.5%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

＜値上がり要因＞

- ・米国連邦準備制度理事会（FRB）の利上げペース鈍化への期待が強まったこと。
- ・ユーロ圏の消費者物価指数（CPI）速報値が市場予想を下回りインフレ圧力が緩和したこと。
- ・ドイツのZEW景気期待指数およびユーロ圏の製造業・サービス業の購買担当者景気指数（PMI）速報値が市場予想を上回り、ユーロ圏の景気悪化に対する過度な懸念が和らいだこと。
- ・ユーロが対円で上昇したこと。

＜値下がり要因＞

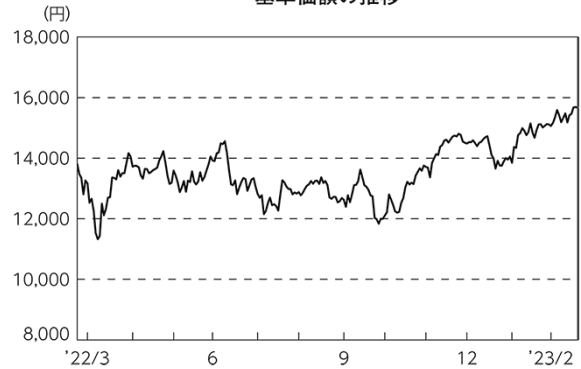
- ・ロシアによるウクライナ侵攻を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まったことや、サプライチェーン（供給網）の混乱などからインフレ高進が警戒されたこと。
- ・FRBが大幅な利上げを実施し、急激な金融引き締めによる景気後退への警戒感が強まったこと。
- ・欧州中央銀行（ECB）高官がインフレ抑制を優先し金融引き締めを強化する姿勢を強調したことを受けて、欧州景気の悪化が懸念されたこと。

（ドイツ株式市況）

ドイツの株式市場（DAX指数）は、期間の初めと比べて上昇しました。

期間の初めから2022年10月前半にかけては、ロシアによるウクライナ侵攻を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まったことや、サプライチェーンの混乱などからインフレ高進が警戒されたこと、FRBが大幅な利上げを実施し、急激な金融引き締めによる景気後退への警戒感が強まったこと、ECBが政策金利の引き上げ開始や大幅な利上げの可能性を示唆したこと、ジャクソンホール会議においてFRB議長やECB高官がインフレ抑制を優先し金融引き締めを強化する姿勢を強調したことを受けて、欧州景気の悪化が懸念されたことなどから、DAX指数は下落しました。10月後半から期間末にかけては、公表された米国のPMI速報値やCPIが市場予想を下回り、FRBの利上げペース鈍化への期待が強まったことや、ユーロ圏のCPI速報値が市場予想を下回りインフレ圧力が緩和したこと、ドイツのZEW景気期待指数およびユーロ圏の製造業・サービス業のPMI速報値が市場予想を上回り、ユーロ圏の景気悪化に対する過度な懸念が和らいだことなどから、DAX指数は上昇しました。

基準価額の推移

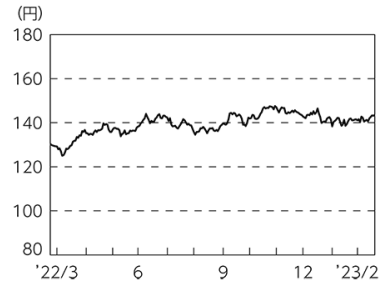


期首	期中高値	期中安値	期末
2022/02/21	2023/02/17	2022/03/08	2023/02/20
13,803円	15,688円	11,327円	15,670円

(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。

円／ユーロの推移



ポートフォリオ

主として、ドイツの金融商品取引所に上場されている株式に投資し、ベンチマークである「DAX指数（円換算ベース）」に連動する投資成果をめざして運用を行ないました。

なお、外貨建資産は、為替ヘッジを行わず、高位の外貨エクスポージャーを維持しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

期間中における基準価額は、13.5%の値上がりとなり、ベンチマークである「DAX指数（円換算ベース）」の上昇率13.3%を概ね0.2%上回りました。

ベンチマークとの差異における主な要因は以下の通りです。

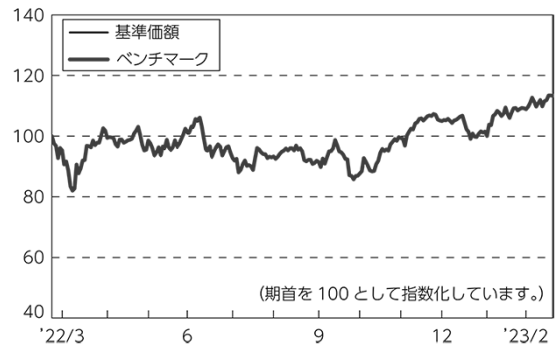
<プラス要因>

- ・配当に係る源泉税の還付金を受け取ったこと。

<マイナス要因>

- ・配当に係る源泉税の支払いが影響したこと。
- ・売買手数料や海外口座管理費用などの支払いが影響したこと。

基準価額とベンチマーク（指数化）の推移



○今後の運用方針

引き続き、ベンチマークである「DAX指数（円換算ベース）」に連動する投資成果をめざし、主としてドイツの金融商品取引所に上場されている株式に投資する方針です。また、運用の効率化のため、株価指数先物取引等のデリバティブ取引や外国為替予約取引を活用します。なお、外貨建資産は、原則として為替ヘッジを行わず、高位の外貨エクスポージャーを維持する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年2月22日～2023年2月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料	円	%	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(6)	(0.045)	
(先物・オプション)	(0)	(0.002)	
(b) そ の 他 費 用	9	0.070	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(8)	(0.058)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(2)	(0.012)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	15	0.117	
期中の平均基準価額は、13,544円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2022年2月22日～2023年2月20日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	ユーロ	百株	千ユーロ	百株	千ユーロ
	ドイツ	130 (-)	558 (△ 28)	319	1,505
	オランダ	-	-	5	58
	アイルランド	0.76	20	10	313

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

先物取引の種類別取引状況

種 類 別		買 建		売 建	
		新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外国	株式先物取引	百万円 582	百万円 557	百万円 -	百万円 -

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○株式売買比率

(2022年2月22日～2023年2月20日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	347,473千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,394,621千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.24

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2022年2月22日～2023年2月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2022年2月22日～2023年2月20日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2023年2月20日現在)

外国株式

銘柄	株数	当期		業種等		
		株数	評価額			
					外貨建金額	邦貨換算金額
(ユーロ…ドイツ)	百株	百株	千円			
ADIDAS AG	15	12	181	26,017	耐久消費財・アパレル	
ALLIANZ SE-REG	35	30	666	95,689	保険	
BAYERISCHE MOTOREN WERKE AG	27	23	234	33,659	自動車・自動車部品	
BASF SE	78	68	357	51,338	素材	
BAYER AG-REG	84	75	444	63,853	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
BEIERSDORF AG	8	7	84	12,185	家庭用品・パーソナル用品	
BRENTAG SE	13	11	86	12,381	資本財	
CONTINENTAL AG	9	8	57	8,263	自動車・自動車部品	
COVESTRO AG	16	14	61	8,767	素材	
MERCEDES-BENZ GROUP AG	71	60	449	64,524	自動車・自動車部品	
DAIMLER TRUCK HOLDING AG	—	32	103	14,839	資本財	
DEUTSCHE BOERSE AG	15	14	241	34,599	各種金融	
DEUTSCHE BANK AG-REGISTERED	176	156	185	26,637	各種金融	
DEUTSCHE POST AG-REG	83	72	294	42,306	運輸	
DEUTSCHE TELEKOM AG-REG	295	264	549	78,812	電気通信サービス	
VONOVIA SE	59	54	137	19,802	不動産	
DELIVERY HERO SE	15	—	—	—	小売	
DR ING HC F PORSCHE AG-PRF	—	8	99	14,280	自動車・自動車部品	
E.ON SE	177	159	161	23,247	公益事業	
FRESENIUS MEDICAL CARE AG &	17	15	57	8,196	ヘルスケア機器・サービス	
FRESENIUS SE & CO KGAA	35	31	92	13,210	ヘルスケア機器・サービス	
HANNOVER RUECK SE-REG	—	4	83	12,013	保険	
HEIDELBERGCEMENT AG	12	10	67	9,754	素材	
HENKEL AG & CO KGAA VORZUG	14	12	84	12,179	家庭用品・パーソナル用品	
HELLOFRESH SE	14	—	—	—	食品・生活必需品小売り	
INFINEON TECHNOLOGIES AG	111	99	351	50,446	半導体・半導体製造装置	
MERCK KGAA	11	9	181	26,067	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
MTU AERO ENGINES AG	4	4	95	13,736	資本財	
MUENCHENER RUECKVER AG-REG	12	10	349	50,144	保険	
PORSCHE AUTOMOBIL HLDG-PFD	13	11	65	9,360	自動車・自動車部品	
PUMA SE	8	—	—	—	耐久消費財・アパレル	
QIAGEN N.V.	19	17	78	11,196	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
RWE AG	57	51	204	29,382	公益事業	
SAP SE	89	78	857	123,053	ソフトウェア・サービス	
SARTORIUS AG-VORZUG-PRF	2	1	80	11,524	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
SIEMENS HEALTHINEERS AG	23	21	107	15,383	ヘルスケア機器・サービス	
SIEMENS AG-REG	66	58	849	121,868	資本財	
SIEMENS ENERGY AG	40	35	68	9,807	資本財	
SYMRISE AG	10	10	97	14,021	素材	
VOLKSWAGEN AG-PFD	15	17	230	33,053	自動車・自動車部品	
ZALANDO SE	19	17	71	10,208	小売	
小計	株数・金額	1,785	1,596	8,470	1,215,818	
	銘柄数<比率>	38	38	—	<78.7%>	

銘柄	株数	当期		業種等	
		株数	評価額		
(ユーロ…オランダ) AIRBUS SE	百株 49	百株 44	千ユーロ 562	千円 80,690	資本財
小計	株数・金額 49	株数 44	金額 562	金額 80,690	
	銘柄数<比率> 1	1	—	<5.2%>	
(ユーロ…アイルランド) LINDE PLC	39	28	870	124,965	素材
小計	株数・金額 39	株数 28	金額 870	金額 124,965	
	銘柄数<比率> 1	1	—	<8.1%>	
合計	株数・金額 1,874	株数 1,670	金額 9,903	金額 1,421,475	
	銘柄数<比率> 40	40	—	<92.0%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

先物取引の銘柄別期末残高

銘柄別	当期	
	買建額	売建額
外国 株式先物取引 MINIDAX	百万円 133	百万円 —

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2023年2月20日現在)

項目	期末	
	評価額	比率
株式	千円 1,421,475	% 91.9
コール・ローン等、その他	124,535	8.1
投資信託財産総額	1,546,010	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産(1,495,126千円)の投資信託財産総額(1,546,010千円)に対する比率は96.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1ユーロ=143.53円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年2月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,612,687,719
コール・ローン等	76,213,262
株式(評価額)	1,421,475,002
未収入金	76,798,014
未収配当金	551,142
差入委託証拠金	37,650,299
(B) 負債	67,377,623
未払金	66,681,692
未払解約金	695,921
未払利息	10
(C) 純資産総額(A-B)	1,545,310,096
元本	986,165,223
次期繰越損益金	559,144,873
(D) 受益権総口数	986,165,223口
1万口当たり基準価額(C/D)	15,670円

(注) 当ファンドの期首元本額は1,142,948,013円、期中追加設定元本額は137,878,131円、期中一部解約元本額は294,660,921円です。

(注) 2023年2月20日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・インデックスファンドDAX (ドイツ株式) 986,165,223円

(注) 1口当たり純資産額は1,5670円です。

○損益の状況 (2022年2月22日～2023年2月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	52,752,383
受取配当金	52,895,977
受取利息	43
その他収益金	1,384
支払利息	△ 145,021
(B) 有価証券売買損益	138,129,577
売買益	274,203,506
売買損	△136,073,929
(C) 先物取引等取引損益	10,553,474
取引益	24,080,746
取引損	△ 13,527,272
(D) 保管費用等	△ 1,055,626
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	200,379,808
(F) 前期繰越損益金	434,610,780
(G) 追加信託差損益金	43,680,715
(H) 解約差損益金	△119,526,430
(I) 計(E+F+G+H)	559,144,873
次期繰越損益金(I)	559,144,873

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(H)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2022年2月22日から2023年2月20日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。